

第1部: 基調講演 13:05-13:45

「人権」は今を生きる若者にとって力を持ちうる言葉なのか。大学という学びの場で、「自由を生き抜く実践知」の必要性を説く講師に、「人権」を学ぶことの意義と可能性をお話いただきます。

田中 優子 法政大学総長

「自由」を生き抜くために若者が「人権」を学ぶということ

第2部: パネルディスカッション

①「人権教育・人権啓発の現状と課題」 13:45-15:25

人権教育・人権啓発に関する国内法制度や国連プログラムの現状、そして日本と世界との展開過程の差異やオリンピック・パラリンピックとの関係について、マクロな視点で検討し未来に向けた一歩を探ります。

パネラー 山本 憲幸 東京法務局人権擁護部長
大久保 哲也 東京都総務局理事(人権担当)
阿久澤 麻理子 (一財)ヒューライツ大阪理事、大阪市立大学人権問題研究センター教授
建石 真公子 法政大学法学部教授、日本オリンピックアカデミー監事

コーディネーター 坂元 茂樹 (公財)人権教育啓発推進センター理事長、同志社大学法学部教授

②「各地の取り組みから」 15:30-16:55

地域の人権課題に対して全国各地の「人権センター」はどのような役割を果たしていくべきなのか。各地の現状と課題についてお話いただき、各自治体の人権教育・人権啓発を進めるための展望の共有を図ります。

パネラー なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや 菱田 正実 所長
(公財)兵庫県人権啓発協会 田中 宏忠 専務理事
(公財)東京都人権啓発センター 村岡 教昭 専務理事

コーディネーター 友常 勉 (公財)東京都人権啓発センター理事、東京外国語大学大学院国際日本学研究院教授

※本行事は当初、6月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、11月に延期し、無観客で実施のうえ、インターネットでライブ配信することといたしました。

申込方法

Eメールにて
お申込みください。

締切

11月4日(水)

- 件名に「シンポジウム申込み」と明記のうえ、①お名前と②返信先のEメールアドレスをご連絡ください。
- 前日までに配信URLと資料(PDF)をメールにて送信いたします。
- 返信メールが迷惑メールに振り分けられる場合があります。ご注意ください。
- 必要な配慮(点字資料等)がある場合にはご連絡ください。
- 個人情報は、申込み手続き以外には使用しません。

お申込み先

(公財)東京都人権啓発センター

E-MAIL

fukyu3102@tokyo-jinken.or.jp

■ お問い合わせ

公益財団法人
東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6
芝256スクエアビル2F

TEL 03-6722-0085
FAX 03-6722-0084

E-MAIL fukyu3102@tokyo-jinken.or.jp
URL https://www.tokyo-jinken.or.jp